



城山

令和6年2月27日発行
妙高市立新井南小学校
学校だより 2月号

「間」の大切さ

校長 丸山 文雄

2月24日(土)の19時過ぎ、大輪の花火が学校周辺の夜空を彩りました。学校のグラウンドには20名程度の方が集まり、今年が最後となる花火に心を和ませていました。

この花火は、新井南部地域を元気にしたいと地域の有志の皆さんが「南雪中花」として行ってきました。新型コロナウイルス禍前には、綿密な計画のもと、除雪や会場設営等の前日準備に始まり、当日、そして翌日の後片付け等、時間、空間、仲間を大切にした献身的な活動をされていました。多用な中で各自が時間をつくり、南部地域という空間で、有志の仲間を大切にしている姿に、教育の本質と相通じるものを感じました。

以前から、子どもたちが遊ぶ時間や場所(空間)が失われ、友達(仲間)が少なくなったことを「三間(さんま)がない」と言われています。また、「間」がないと「間違える」「間が悪い」ことにもつながります。学校では、子どもに自己選択、自己決定する場を設定し、子どもと教師の「間」(支援するタイミングや待つ姿勢)を大切にしています。子どもは有能な学び手で、教師が環境さえ整えれば学ぶ主体であるからです。待つという「間」は、なかなか難しいものです。しかし、大人が子どもに矢継ぎ早に指示することは、子どもの思考を妨げることにもなり得ます。時間は有限ですが、子どもと大人だけでなく、子どもと子ども、大人と大人の「間」を大切にしていきたいものです。

◆妙高型イエナプラン教育（移行期）の軌跡 其の十◆

2月20日(火)、妙高型イエナプラン教育研修会を実施。

市内教職員や学校運営協議会委員、保護者の皆さんなど延べ30名が参加され、当校の取組の様子を見ていただき、ご意見・ご感想をいただきました。

- ・子どもたちの自然体な様子や学習の中での安心感がとても印象的でした。5年生の国語の読み取りでは、ワークシートにすぐ取り掛かり、やや浅い読みだったお子さんも、グループで話し合ううちに気付き、加筆していました。やる事が明確で何をやるべきがよく理解していました。
- ・子どもたちが、2時間落ち着いて自分のペースで学習に取り組む様子に驚きました。朝の会での答えのない哲学も、子どもにとっては多様な意見を聞く機会になっていたと思います。



◆3月の予定表・・・・・・・・

日(曜)	予 定
1日(金)	6年生を送る会、鼓笛移杖式 年度末学校説明会 学年・学級懇談会 新旧PTA役員引継会
4日(月)	音楽集会
5日(火)	卒業式練習①
6日(水)	下校指導、全校下校 15:00
7日(木)	委員会⑬(4～6年)
11日(月)	児童集会、みなみっ子学習
12日(火)	全校下校 15:00
13日(水)	5・6年台湾との遠隔交流学习
14日(木)	卒業式練習②
19日(火)	給食最終日、卒業式練習③ 全校下校 15:00
20日(水)	春分の日
21日(木)	第3学期終業式、卒業式準備
22日(金)	第63回卒業証書授与式
23日(土)	春休み～4月7日(日)
25日(月)	離任式

◆トピックス・・・・・・・・



<能登半島地震 募金活動>

16,692円の義援金が集まりました。2月2日(金)に学校向上委員会の子どもが、石川県へ義援金を振り込みました。ご協力ありがとうございました。



<つるし雛の下で挨拶ハイタッチ>

つるし雛は、図書館ボランティアの長田さんからご提供いただきました。